

B型肝炎歯科で差別2割

申告の患者「後回し」

歯科医療機関でB型肝炎に感染していることを伝えた患者の約2割が治療を断られたり、後回しにされたりするなどして差別的な扱いを受けたと感じた経験があることが全国B型肝炎訴訟原告団・弁護団のアンケートで初めて明らかになった。厚生労働省は2018年に院内感染を防ぐための基準を新設し、感染症対策は浸透しつつあるが、それ以降も同様の扱いを受けたとする患者もいた。弁護団は「感染症対策を徹底すれば偏見は解消できる。全ての歯科医は対策に取り組んでほしい」と訴える。

3面に
CU
クローズアップ

弁護団は19年8月に原告約2万5000人にアンケート用紙を送付し、10歳未満70代の7030人が回答した。受診時の問診票で感染を「常に伝えている」

「伝えたことも、伝えなかったこともある」と答えた人は計3699人いた。この人たちに感染を伝えられた対応について複数回答で尋ねたところ、「特別な部屋や椅子に案内された」7・9%（293人）▽「自分の椅子だけシートを敷かれたり、周りをラッ

プで覆われたりした」7・5%（276人）▽「診療時間や予約時間を他の患者の後にされた」5・4%（198人）▽「治療を断られた」3・6%（134人）など約2割が差別的な扱いをされたと感じていた。「断られた」とした134人のうち、厚生省が感染

防止の新基準を設けた18年10月以降に「断られた」と回答した人も11人いた。

一方、厚生省の研究班の調査（17年発表）で、歯を削るドリルを取り付ける「ハンドピース」を患者ごとに交換、滅菌していると

答えた歯科医は52%にとどまることが判明。このため、厚生省は18年10月、感染防止対策の研修を受けた歯科医を配置することや、十分な滅菌体制の整備などを届け出た医療機関の初診料と再診料の報酬を加算する一方、未届けの場合は減算する施策を始めた。だが、19

年10月現在、全国の歯科医療機関6万8500カ所の5%程度が未届けという。国の推計（04年度）では、未発症者を含む感染者は110万〜140万人。アンケートをまとめた九州弁護団事務局長の武藤（たけふ）明（あきら）氏は「問診票で感染の有無を聞いても、感染対策の効果は低い」と指摘。「歯科医療機関は、患者が感染者であるかどうかを問わず、一律に器具を交換したり、滅菌したりしてほしい」と話す。

【遠藤浩二】
厚生労働省歯科保健課の担当者の話 厚生省は19年11月、全ての患者の血液や体液に感染の危険性があることを前提とした「標準予防策」を徹底するよう全国の自治体に通知した。新型コロナウイルスの感染拡大で感染症に対する意識は高まっているが、標準予防策への理解は歯科医師によって濃淡があり、研修などを通じて理解を深める必要がある。

歯科医理解必要

「鬼滅」興収新記録324億円

夕刊は4日から再開し
年内の夕刊は28日で終わり、新年は4日、ご了承ください。

公開中のアニメ映画「劇場版『鬼滅の刃』」の興行収入が324億7880万円で公開された映画興収の記録を更新した。2404万人。配給元の東宝とスガ28日、発表した。これまでの歴代「千尋の神隠し」の316億8000万

2面に
焦

「千と千尋」

「鬼滅の刃」は10月16日の観客が詰めかけ、史上最速（公）で興収100億円を突破した。ウィルスの感染拡大により海などの公開が延期される中で



©吾峠呼世晴／集英社・アニプレックス・ufotable

達。今年夏、リバイバル上巻億8000万円を上積みし、ついに「鬼滅の刃」は吾峠の漫画が原作。電子版を含むグッズ累計発行部数が1億を超えるなど、大ヒットしている。

コロナ特措法優先審議



対策が強化され、
こんどいない羽田
手塚耕一郎撮影